

ふるさとの歴史の道「陶の道」を歩く

教科・領域 総合的な学習の時間

周南市立富田中学校 1 学年

キャリア教育の観点

「陶の道」を歩く体験活動は、事前学習や当日の活動において、地域の方や教育委員会の協力をいただきながら、身近な地域を知るとともに、生徒同士や地域の方々のつながりを意識することで、自己有用感や所属感を味わう活動です。ねらいは次の4つです。

- ①郷土の歴史の道を実際に歩くことにより、身近な地域を知り、興味関心をもつ。
- ②生徒同士や地域の方々との触れあいを深め、人とのつながりの意識を高める。
- ③集団におけるルールを身に付け、安全や公衆道徳への意識を高める。
- ④地域協力者との連携により、地域行事に積極的に参加する意識を育てる。

【人間関係形成・社会形成能力】【自己理解・自己管理能力】

事前準備

(1) 宿泊学習をととして

4月に山口徳地青少年自然の家で、宿泊学習を行うが、入学して間もないことから生徒同士の人間関係の構築を第一に考え、主に次の活動を行った。

- ・学年全体で行う行事の目的を理解し、行事の企画、立案、実施方法を考える。
- ・学年全体で行う活動を決定し、課題を見つけ、それを個人やグループで解決していく。
- ・班新聞を作成し、発表会を行う。

(2) 地域を知る

8月に行われる地域のイベント～サンフェスタしんなんよう～を通じて、新南陽のまちについて調べる活動を行った。以下の手順で実施し、より深く地域を知る一つのきっかけにしている。

- ・共通の興味、関心をもった生徒でグループを作り、課題を設定する。
- ・グループでの課題を解決するために、調査研究を行う。
- ・発表の形態を決定し、文化祭の場で発表する。(紙面発表の班あり)



(3) ジャンボ紙芝居

12月に中世の郷土の武将「陶氏」に焦点をあて、陶氏に関わる学習を進めていく。その中で、陶氏についてまとめてあるジャンボ紙芝居を地域の方(講師)の協力のもとに鑑賞し、陶氏について理解を深めていく。

- ・事前に講師の方と打合せを行う。

講演会、紙芝居日程

- ①開式の言葉、講師紹介
- ②ジャンボ紙芝居上演
- ③講師の方の講演
- ④お礼の言葉
- ⑤閉式の言葉

「陶の道」を歩く 当日

例年、3月に実施している。山間部を歩くので、寒さもあり、健康面で不安があるが、一年間のまとめとして、また地域や保護者の方、さらには3年生が卒業した後なので3年の先生方の協力を得やすいこの時期に実施している。

生徒は各クラス別に、担任の先導のもと歩いていくことになる。福川本陣や若山城、山崎八幡宮や勝栄寺などといった史跡を巡り、自分たちが調べた場所に実際に行くことで、感慨も深く、理解も深まると考える。また、4月から培ってきた友人関係も深まり、友人の新たな一面に気付く生徒も多い。

十数キロもの長い道のりを友人と協力しながら歩くことは、大変意義深いものだといえる。

(1) 教師による事前準備

- ・事前に「陶の道」を歩くことにより、コースの確認や危険箇所を把握した。
- ・地域の方や教育委員会の協力を得て、説明をしていたきながら歩くことにより、地域をより深く知ることができる。担当者間での打合せを十分に行った。
- ・保護者ボランティアの方と一緒に歩いていただき、交通整理や体調不良を訴える生徒についての連絡をしていただいた。全行程を歩いた保護者もおられれば、一部の行程を歩いた保護者もおられた。平成24年度は、11名の保護者の協力を得ることができ、事前打合せも1度行った。

(2) 生徒の役割分担

- ・実行委員を募り、実行委員で運営していくことを基本に行った。当日までに、クラス旗の製作や行程の確認、危険箇所などの把握を行った。主な役割としては、出発式や解散式の司会、地域や保護者の方へのお礼のことばであるが、リーダーとしての自覚をもたせることにより、達成感や充実感を味わった生徒も多かった。

タイムテーブル

8 : 30	出発式
8 : 45	富田中学校 出発
9 : 20	福川駅
10 : 15	若山山頂
	「陶の道」
12 : 45	小畑小学校 (昼食休憩)
14 : 20	富岡公園、陶氏館跡
15 : 30	山崎八幡宮
16 : 00	勝栄寺
16 : 30	解散



まとめ

「陶の道」を歩く終了後、生徒は感想と地域の方や保護者の方へのお礼の手紙を書いた。1年間を通して地域について調べてきたこと、発表してきたことなどをまとめた。時期的に発表会を開催することが難しいので、個人でのまとめとなった。

1年生の総合的な学習の時間のテーマ「地域を知る」にふさわしいまとめとなっているものが多く、生徒の感想から人と人との関わり方や、地域に多くある自分たちの知らなかった史跡などを学んだことが伺えた。

考察・課題

生徒にとっては、友人関係を築いていく上で、これらの諸行事は貴重な経験となっている。また、一日かけて長い距離を歩くことで達成感もあり、これからの生活に生かされるはずである。何より「自分是可以る」と肯定的に捉えられるようになることは、大変意義深いものである。また、地域や保護者の方と共に活動することで、地域のボランティア活動へ積極的に参加する意識も高くなった。

課題としては、やはり安全面があげられる。携帯電話の通じない場所もあり、約200名の生徒が歩く中でも、道に迷う生徒もいた。伝統的な行事となってきたので、地域の方との折衝や打合せはスムーズになっているが、担当教師の負担も大きい。さらに保護者や地域の方の協力が、得られるようにしていく必要があると考えられる。

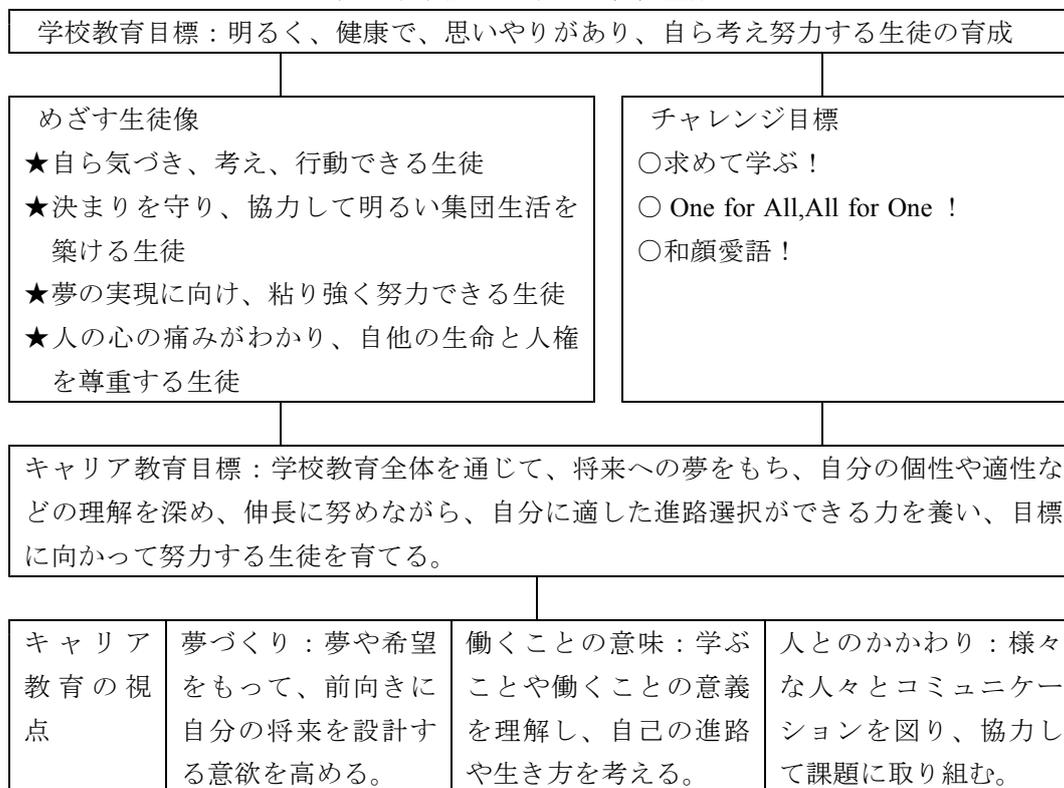
全体計画との関連

本活動におけるキャリア教育の視点としては、様々な人々とのコミュニケーションを図り、協力して課題に取り組むことである。また、人間関係形成・社会形成能力として、集団や組織の中でコミュニケーションを図り、豊かな人間関係を築いていく能力や互いを認め、尊重し合うために、他者の個性や価値観を理解する能力を高めること、自己理解・自己管理能力として、自己の個性・能力・適性を理解し、自己分析を通して内的な進化を図り、自分の考えや感じ方、感情を伝えるために、豊かに表現する能力を高めることとしている。

総合的な学習の時間に、保護者や地域との連携を図りながら、生徒の感想や保護者、地域の方の気づき、教員の反省をふまえて次年度に生かしている。

本活動のキャリア教育全体の中での位置づけを、次に示している。

富田中学校 キャリア教育全体計画



キャリア発達課題	
人間関係形成 社会形成能力	○集団や組織の中で、コミュニケーションを図り、豊かな人間関係を築いていく能力 ○互いを認め、尊重し合うために、他者の個性や価値観を理解する能力
自己理解・自己管理能力	○自己の個性・能力・適性を理解し、自己分析を通して内的な進化を図る能力 ○自分の考えや感じ方、感情を伝えるために、豊かに表現する能力
課題対応能力	○学校と社会・職業生活の関連の中で、働くことの意義や役割などについて理解を深めていく能力
キャリアプランニング能力	○将来の生き方を思い描き、将来を計画し、選択・決定していく能力

指導時間						
各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	ボランティア活動等
		学級活動	学校行事	生徒会活動		

家庭・地域との連携	学年	学習テーマ	目 標	関係機関・団体との連携
	1年	地域を知る ○宿泊学習 ○地域学習 ○「陶の道」を歩く	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での宿泊学習において、仲間との協同的なかかわり合いを通じて、課題を解決していく主体的態度を育てる。 ・地域の歴史や現在について探究し、問題解決能力を育てる。 ・地域の人々との触れ合いにより、郷土愛や誇りをもたせる。 	
	2年	地域に学ぶ ○平和学習 ○職場体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒロシマ」に対する関心を深め、探究活動を通じて、平和の大切さについて考えさせ、自他の生命を尊重させる。 ・地域で働く人々から、働くことや学ぶことの意義を理解させる。 ・職場体験学習を通じて、自分の資質や今後の課題を見つめさせる。 	
	3年	地域に立つ ○修学旅行 ○進路学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化に直接触れ、探究活動を通じて理解を深めさせる。 ・都市と地方との関係や外から見た地域の現実を理解させる。 ・地域と関わり生きる中で、将来の自分の生き方を考えさせ、自分の進路に希望をもたせる。 	